

第 11 回 レオ・トレーナー作曲コンクール 開催のご案内

日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会

URL: <http://www.vdgsj.org/>

日本で誕生し、アメリカで根付いた「レオ・トレーナー作曲コンクール」の第 11 回目が、アメリカ・ヴィオラ・ダ・ガンバ協会 (VdGSA) の主催により開催されます。このコンクールは、レオ・トレーナー氏が「ガンバのためのコンテンポラリーな曲作りに役立ててほしい」と日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会に基金を託されたことから始まり、第 1 回 (1984 年)・第 2 回 (1986 年) は東京で開催されました。その後、コンクールは、VdGSA に全権を委譲し今日に至りますが、日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会 (VdGSJ) は、2000 年に寄付をしています。

当コンクールはその後も順調に回を重ね、この程、第 11 回の募集がアナウンスされました。以下が概要です。

募集期間: 2016 年 1 月 1 日 - 10 月 1 日

提出先: traynorcompetition@vdgsa.org (電子メールによる)

作品形態: 使用楽器はヴィオラ・ダ・ガンバのみ。未発表のオリジナル曲 (5 分以内)。

ファイル形式: Sibelius 6 を推奨。他形式の場合は前もって確認のこと。

入選者には賞金 \$500 が贈られます。入選作品は 2017 VdGSA Conclave (於・マイアミ大学) にて演奏されると共に、聴衆賞に選ばれた入選者にはさらに \$250 の賞金が贈られます。詳細については、下記 VdGSA のウェブサイトをご覧ください。(VdGSJ サイトからもリンクが張ってあります)

<http://www.vdgsa.org/pgs/traynor.html>

また別添・募集要項の日本語抄訳もご活用下さい。

第 11 回 レオ・トレーナー国際作曲コンクール 募集要項

(日本語抄訳: 原文を必ずご覧下さい)

アメリカ ヴィオラ・ダ・ガンバ協会 (VdGSA) の提供により、以下の要領で、第11回レオ・トレーナー国際作曲コンクールを開催します。本コンクールの目的は、ヴィオラ・ダ・ガンバのための新たな音楽作品の創造を促し、この楽器の伝統を現代社会に受け継いでいくことです。作品の募集期間は2016年1月1日から同年10月1日までとします。入選作品は、2017年7月にマイアミ大学で開催される VdGSA Conclave の場で発表されます。

1. 応募は、3声から6声のヴィオラ・ダ・ガンバ・コンソートのための未発表オリジナル作品に限ります。電子メールにて traynorcompetition@vdgsa.org へ提出してください。応募の際には作曲者名、住所、電子メールアドレス、電話番号、作品のタイトルを必ず明記してください。Sibelius 6 形式を推奨します。それ以外の形式を希望の場合は前もって確認を取ってください。お手元にコピーを保存しておいて下さい。

2. 演奏時間は5分を超えることはできません。

3. 曲のスタイルは問いません。使用楽器は全てヴィオラ・ダ・ガンバに限ります。

4. ヴィオラ・ダ・ガンバ経験のあるアマチュアが演奏できるものに限り、VdGSA の多くのメンバーが演奏できることが望まれるためです。

5. 審査は匿名で行われます。応募作品のスコアは2016年1月1日から10月1日までの期間に受け付けます。作曲者名は通常の場合に記載して下さい。主催者が作曲者名をエントリー番号に置き換えた上で審査員に送ります。

6. 参加費は無料です。年齢制限はありません。

7. 審査員は、ヴィオラ・ダ・ガンバの現代作品の演奏・指導において豊富な経験を有するプロフェッショナルです。最大4名の入選者が選考され、入選者には各々 \$500 の賞金が贈られます。入選作品は2017 VdGSA Conclave で演奏され、聴衆賞 (賞金 \$250) が選ばれます。コンサートの模様は録音され、入選者に配られます。

8. 入選作品は VdGSA によって出版されます。応募者は入選した場合に VdGSA に出版・録音の権利を与えるものとします。著作権は応募者にあります。

さらなる詳細については traynorcompetition@vdgsa.org へお問い合わせ下さい。(英語)
アメリカガンバ協会のサイト <http://www.vdgsa.org/pgs/traynor.html> もご覧下さい。